

しゃきよう おおいそ 新年号

No. 110 2013 Jan

社会福祉法人 大磯町社会福祉協議会
〒255-0003
大磯町大磯1352番地の1
大磯町立福祉センターさざれ石内
電話 0463-61-9390
FAX 0463-61-7614
URL http://www.oiso-shakyo.jp/

しゃきよう
社協とは社会福祉協議会の略です

国府新宿地区ボランティア活動紹介



写真は毎年行なわれている敬老会の様子です。
国府新宿地区ボランティアは、このようなイベントのほかに毎月1回心とむ交流会を開催しています。
参加されている皆様からは「出かけるのが待ちどおしい」という声がたくさん聞かれているようです。「今後も身体に良いこと、生活に役立つことについての、研修会や、お楽しみ会を企画していきたい」とのこと。

年頭の「ごあいさつ」

大磯町社会福祉協議会

会長 児玉 佐安子



新年あけましておめでとうございませす。

お迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は震災復興を背景とした情勢が、多岐に渡り困窮している中、年末たすけあい募金など、地域の皆様の温かいご賛同を賜り、心より感謝申し上げます。

少子高齢化が進む中、高齢者の各種事業を行い、子育て支援として学童保育の運営を行っております。また、地域福祉の分野では、ボランティア活動支援をはじめとする様々な事業を行っており、地域でも保健・医療・福祉との連携は明確なものであります。地域の皆様が安心して暮らせるよう、「ささえあい、こころのふれあうまちづくり」を目指してまいります。

役員一同、本年も一層努力してまいりますので、皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、地域の皆さまがご多幸の一年になりますよう、ご健勝と更なるご活躍を祈願いたします。

「第23回大磯町社会福祉大会」が開催されました

大磯町社会福祉大会実行委員



大磯町社会福祉協議会では、10月27日(土)、第23回大磯町社会福祉大会を開催しました。式典では福祉活動功労者の表彰や大磯町福祉作文コンクールの受賞者の表彰が行われました。また、当日のプログラムについては、実行委員の検討のもとすすめてまいりました。

今年は天候にも恵まれ、沢山の方にお越しいただき大変にぎやかな大会となりました。

ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

福祉活動功労者の表彰と感謝

今年、15名の表彰、ならびに4名と6団体への感謝状贈呈をいたしました。

<表彰> (敬称略 順不同)

・永年にわたり社会福祉活動の発展に寄与されました			
剣持 綾子	櫻井 智定		
金井 直美	山口 敬子		
・永年にわたりボランティア活動を通じ社会福祉の発展に寄与されました			
金子 タカ子	寺田 美穂子	原 ナヲ	
保坂 清子	細谷 美智子	柳田 菊江	
山浦 則子	山口 多津江	吉川 京子	
渡邊 映世	渡辺 信子		

<感謝>

・大磯町社会福祉協議会へ多額のご寄付をいただきました			
小島 荘三			
・社会福祉活動に貢献されました			
神明町地域福祉推進委員会	北下町地域福祉推進委員会		
馬場地域福祉推進委員会	西小磯東地域福祉推進委員会		
月京地域福祉推進委員会	生沢地域福祉推進委員会		
・永年にわたり児童福祉に貢献されました			
斉藤 和代	萩原 陽子	山口 美樹	

大磯町福祉作文コンクール入選者

町内の小中学生23名が応募。6名が入選に輝きました。

<小学生の部>

(敬称略)

賞および作品名	氏名	学校名
大磯町社会福祉協議会長賞 『学びたいこと』	二宮 明士	国府小学校
神奈川県共同募金会大磯町支会長賞 『高齢者と共に生きる町「大磯」』	後藤 真菜	大磯小学校
佳作 『私が思う点字のもう一つの役割』	松田小光杏	国府小学校

<中学生の部>

賞および作品名	氏名	学校名
大磯町社会福祉協議会長賞 『福祉について私が思うこと』	加藤沙耶果	国府中学校
神奈川県共同募金会大磯町支会長賞 『福祉の本当の大切さとは』	紅谷ありさ	国府中学校
佳作 『福祉』	戸田 力	大磯中学校



大磯町キャラクター「いそべえ」も来場しました

アトラクションの出演者

大磯町社会福祉大会

ドルフィン&ブルーエコー (シニア合唱)
大磯小学校合唱団 (小学生合唱)
楽志亭 壺生さん (落語)

福祉作文コンクール大磯町社会福祉協議会会長賞 作品紹介

学びたいこと

国府小学校 五年 二宮 明士



僕には九四歳になる曾おばあちゃんがいます。とても元気で元気なおおばあちゃんだったので、昨年家の中で転倒してしまいました。その際背中を強打してしまい、一時は全く身動きができなくなっていました。リハビリを頑張りが、現在は自分の身の回りのことをするの一杯だが動けるようになった。そこまでおどろいている。しかし、おばあちゃん本人はとてももどかしい様子だ。何か、おばあちゃんにしてあげられることはないかと僕はいつも考えている。

おばあちゃんが動けなくなるとき、何度もお見まいに行った。病院にも付き添った。体中が痛くて思うように動けないおばあちゃんを助けたくて、手を差し出して見たが、それからどうしていいかわからない。おばあちゃんも、僕の手をどう取っていいのかかわからず、その場の空気が止まった。僕のお母さんは、昔看護師をしていた。そのためか、慣れた手つきでおばあちゃんの補助をしていた。その姿を見ていて、僕にもっと知識があったらと悔しくなった。助けたくても、どう助ければいいのかわからない。

学校で4年生の時にアイマスクの体験をした。目が見えない人がどんな大変なかわかった。しかし、一度だけの体験だったので、実際に出会ったとき、役に立てるかどうかは自信がない。障害のある人や僕のおばあちゃんのような高齢者は、健康な人の作り上げた世の中で立派に生活している。その

頑張りに見合うように健康な僕たちも努力が必要だ。福祉や介護という難しい言葉の意味は、よくわからないが、みんなが仲良く、手を取り合っていて過ごせるような世の中をつくること、一番大切だと思う。そのために、学校でも算数や国語の授業と同じように手助けの方法を学ぶ授業があったらいいなと思う。もっと大きくなって専門学校や、福祉の大学に行けば、学ぶことができるだろうが、小学生にもできることを今、学びたい。

僕は今、自分で手話の勉強をしている。手で会話ができるなんてすばらしいと思ったからだ。またいつか役に立つときに来るかもしれないとも期待している。

おばあちゃんが一番大変なとき助けになれなかった。もどかしい気持ちを忘れずに、一つ一つ学んでいけたらと思う。

福祉について私が思うこと

国府中学校 三年 加藤 沙耶果



「福祉」と聞いて最初に思い浮かんだものが「バリアフリー」です。そのことを中心に私が考えていることを書きます。

今では広く一般にも知られているバリアフリー。車椅子対応エレベーターや階段に併設したスロープ、ノンステップバスなど、私たちの日常生活の中で身近になってきました。私も実際にノンステップバスに乗ったことがあります。普通のバスよりも車内は広く感じられ、乗車する部分や車内の後部に段差がないので、お年寄りの方や障害をもっている方、妊婦さんやベビーカー

を使っているお母さん、そして私たちにしても万が一のときは安全だと思っています。公共施設や一般住宅でもスロープや点字をはじめとするバリアフリーが多く設置され、最近では街の道路なども「歩道をバリアフリー化しています」と書かれた看板を工事現場で見ることが多くなりました。このように、私たちが住んでいる街にバリアフリーがだんだんと広がってきていることは確かですが、私はまだあまりバリアフリーが便利になっていないのではないかと？と思った場所があります。それは駅です。車いす対応のエレベーターや車乗車時のスロープなどがありますが、まだまだ少ないのではないかと感じます。それも全部の駅に取り付けられている訳ではないし、改札口に行くために階段しかない駅だったり、ホームに行くまでもまだエレベーターが取り付けていない駅もあります。ケガをしている人や身体が不自由な人にとっては私たちが思っている以上に負担になり、とても困ることだと思います。だから、人々の移動手段としてかかせない電車をもっと早く普及すればいいなと思います。

そして、そのような物理的な面だけではなく、私たち自身も車いすの方や障害をもっている方への意識を持つことが大切だと思います。困っていたら声をかけて手を貸し助ける、という単純で当たり前のような行動だと思うけれど、私は思っています。人の手助けをするということは、気持ちの面でも意識が必要だと思います。そして社会に、思いやりの心、行動とバリアフリーがもっと広がってほしいと私は思います。

また他にも「福祉」を考えるにあ

たって、今現在から将来に向けてどうしても考えていかなければならない大事な問題の一つとして、私が気になったのは「高齢者の一人暮らし」です。そこからさらにつながる問題で「孤独死」があります。最近ニュース等で頻りに耳にします。若い人が都会へ出ていき、街でも「近所付き合い」というものが減ったことなどが原因だと理解し、考えさせられました。そして、東日本大震災からも学んだ「家族の大切さ」や「住んでいる地域のご近所付き合い」など、人と人との関わりをもつことが、改めてこの時代に生きる私たちに必要なことだと思います。

これまで「福祉」について様々なことを調べたり、また、自分の考えを思い返したりしてみても、私が最終的に思うことは『これからの世の中でどれだけ、高齢者の方や障害をもっている方に対して思いやりのある社会をつくりたいか』と「いかに」のことです。私自身も、八十歳近くになる祖父母と一緒に暮らしているのでさらにそう思います。

高齢者の方や障害をもっている方にとって、又、その方たちを支えている家族や周りの人々にとって、これからの社会に強く求めるものは、負担が少なく安心して生活できることだと思います。そのために、施設を増やすことや制度の充実、実用化させて優しく生活しやすい環境へ社会を広げていくことが一番大切なことだと思います。

そして私たちの世代も、これからの社会を担っていく人間として、一つひとつの問題を解決に導くことのできる世の中を目指していかなければならないと思います。

(敬称略)

地域福祉コーディネータ研修会を開催しました



講師は、公益財団法人さわやか福祉財団
ふれあい推進事業プロジェクトリーダー
木原勇氏

題目は、「がんばれ！町のお世話役～
地域福祉を担う人々の活躍～」



大磯町社協では、11月28日（水）大磯
プリンスホテルにて、「地域福祉コーディネータ研修会」を開催いたしました。

当日は地域福祉推進委員、民生児童委員、ボランティアで活躍されている方など、町内の皆様120名が参加され、講師の方の貴重な講演のもと、大変盛り上がった研修となりました。

講師の木原先生、ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



カードを使用し、助け合い体験をしました

「地域福祉推進委員会」ってなに？



- ・地域福祉推進委員会は、各地区ごとの福祉活動を企画推進する委員会です。
- ・町内24地区に設けられています。
- ・推進委員は、区長、民生委員児童委員、地区ボランティア、各種団体の役員によって構成されています。
- ・地域福祉推進委員会の活動費は、町民の皆様からご協力をいただきました社協会費の4割を還元しています。



県福祉大会で 各種表彰を受ける

10月18日に第61回神奈川県社会福祉大会が、県立音楽堂で開催され各賞の授与式が行われました。

神奈川県知事表彰授与されました。

・藤田 恭さん

・富田 好子さん

神奈川県社会福祉協議会会長表彰授与されました。

・保護司

石川 榮子さん

・おおいそ福祉会

木村 善郎さん

神奈川県共同募金会会長感謝が授与されました。

・土方 公雄さん

・岩崎 英二さん

・福澤 昭夫さん

授とおめでとございます。

人と人とのふれあいを大切にお弁当をお届けしています

大磯町社協では、高齢者世帯を対象にボランティアの手作り弁当をお届けしています。ご希望の方は、どうぞお申し込みください。

また、調理ボランティアと配達ボランティアも募集しています。ご協力していただける方はお気軽にお問い合わせください。



- 対象 ひとり暮らしまたは日中独居の高齢者
高齢者夫婦・世帯
ねたきりの高齢者
- 利用料 1食500円
- 配達する曜日 月・木・金曜日

9月11日から12月10日までに次の方から大磯町社協にご寄付をいただきました。福祉活動のために大切に使用させていただきます。
(敬称略・順不同)

【寄付金】

- さざんかステップ
- 大磯あじさいクラブ
- 石坂卷子のぞみ会
- えぶろんの会（2口）
- ふれあいサロン
- ボランティアおりづる株式会社悠悠苑
- 大磯町農業経営士会
- 飯田八千代
- 大磯社交ダンス愛好会
- 山王町商店会
- ダンシング湘南
- 合計14件 総額202,815円

【寄付物品】

- 齋藤薫（クリスマスリース）
- 合計1件

皆様からの心温まる善意、ありがとうございました。



ケアセンターさざれ石 協力員募集

(若干名)



- 場 所** 町立福祉センターさざれ石
日 時 週1日（月曜日から金曜日）
 ①午前9時から午後4時（変更有）
 ②午前9時から午後1時（変更有）
 ③午後1時から午後4時（変更有）
- 協力内容** デイサービス利用者のお手伝い
 ア、厨房担当：昼食作り、おやつ作り等
 イ、高齢者宅配弁当の調理



お料理の好きな方!!

お問い合わせ
大磯町社協
☎61-9390

＊編集後記＊
 昨年はしゃきょうおおいそをお手にとっていただきありがとうございました。毎回、町内で活躍される皆様の笑顔や元気をお伝えしたく、編集をしておりますが、読者の皆様に伝わりましたでしょうか？
 本年も皆様に元気をお届けできるような紙面づくりを目指していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

大磯学童保育 指導員募集



給与・勤務条件は社協規定による

詳細については、大磯町社協事務局までお問合せください。
電話 61-9390

